

# 四国中央市教育委員会会議録

	<p>平成27年四国中央市教育委員会第10回定例会会議録</p>
日 時	平成27年10月28日（水） 午前 9 時30分～
場 所	四国中央市本庁 4 階会議室（東）
委員定数	5 名
出席委員	委員長 守谷 一郎、委員 篠原 祥子、委員 近藤 達之介、委員 鈴木 千明、教育長 野村 勝廣
欠席委員	委員 なし
会議に出席した公務員の職氏名	教育部長 伊藤 茂、教育総務課長 眞鍋 葵、学校教育課長 原田 尋、学校教育課主幹 石津 善久、生涯学習課長 石川 寿一、文化振興課長 合田 路彦、国体推進課長 藤田 恭二、教育総務課長補佐 鈴木 一好、少年育成センター所長 石井 和隆、教育総務課長補佐 宮崎 啓三、教育総務課係長 星川 直子、教育総務課 戸田 浩史
傍聴人	1 名(報道関係者)
日 程	<p>開会宣言            委員長挨拶            平成27年第 9 回定例会会議録の承認            平成27年第10回定例会会議録署名人の指名            教育長報告                教育長より諸般の報告                各課長より事務報告            議事                議案第30号 四国中央市立学校の児童及び生徒に係る出席停止の命令の                              手続に関する規則について                議案第31号 四国中央市いじめ防止対策委員の委嘱について            その他の案件                学力向上支援事業に係る情報システム計画書について            閉会</p>
会議の概要	<p><b>開会</b>            午前 9 時30分 第10回定例会の開会を宣する。</p>
委員長	<p><b>委員長挨拶</b>            爽やかな秋晴れが続き、運動会や各地の秋祭りも賑わったようだが、10月は、様々な行事が目白押しであった。市民ミュージカルや市民スポーツ祭、社会福祉大会、中学校新人戦、小学校陸上運動記録会、わかやま国体視察、えひめ国体PR活動、秋祭りの特別補導等々、大変ご苦労であった。電子黒板モデル校の公開授業も始まったようだが、これからの成果を期待したい。早いもので来週には11月になる。新聞報道によると国の予算編成で財務省</p>

# 四国中央市教育委員会会議録

	<p>は、今後9年間で全国の公立小・中学校の教職員定数を、約3万7千人（定数全体の約5%に当たる）削減するよう文部科学省に求める方針を固めたようだ。その理由として、少子化によることやいじめ問題等に対応して政策的に人員配置を行ったが、効果が得られていない等が上げられていた。国においても予算については、非常に厳しい状況にあるようだ。予算に関しては、本市でも同様に厳しい状況にあると思う。電子黒板導入等、懸案事項も多くあり、予算獲得についてはご苦労もあろうかと思うが、主張すべきは確り行い、十分資料もそろえて理解が得られるよう尽力いただきたい。無論、予算が認められなくても確定すれば、その状況下で最大限に努力するのが行政の努めであるので前向きに無理をせず、頑張っていたいただきたいと思う。本日は、午後より総合教育会議が予定されている。篠原市長より、「教育振興に関する大綱」の提案及びその他の協議事項も上げられているので、教育委員各位におかれてはよろしく願います。</p>
<p>委員長</p>	<p><b>会議録承認</b> 会議録の承認について諮る。平成27年第9回定例会会議録案について、事務局より説明を求める。</p>
<p>宮崎補佐（教総）</p>	<p>平成27年第9回定例会会議録案の概要を説明する。</p>
<p>委員長</p>	<p>平成27年第9回定例会会議録案の承認について諮る。</p>
<p>全委員</p>	<p>承認する旨答える。</p>
<p>委員長</p>	<p>承認の旨確認し、平成27年第9回定例会会議録の原案を承認する旨宣する。既に指名の委員には、それぞれ後ほど会議録に署名を願う。</p>
<p>委員長</p>	<p><b>会議録署名委員の指名</b> 平成27年第10回定例会会議録署名人に、鈴木千明委員、野村勝廣委員を指名する。</p>
<p>委員長</p>	<p><b>報告事項</b> 諸般の報告を求める。</p>
<p>教育長</p>	<p>10月15～16日の間、第64回全国へき地教育研究大会に出席したので簡単に報告させていただく。公開授業で熊本県上天草市立維和中学校（生徒50名ほど）へ訪れたが、へき地の学校といえども教育機器が導入され、先進的な取り組みがなされていた。取り分け英語の授業は、素晴らしく印象深かった。また、確かな学力の育成を目指して、ユニバーサルデザイン化をモデルとした維和中型アクティブ・ラーニングという独自の工夫がなされた教育が推進されていた。生徒主体の取り組みではあるが、先生方も非常に活動的であった。</p> <p>来月には、秋田県大仙市への先例地研修が控えているが、教育委員各位におかれてはよろしく願います。</p> <p>その他、諸般の報告については特別に私から申し上げることはなく、各課から報告の後ご審議いただきたい。</p>

# 四国中央市教育委員会会議録

委員長	各課から事務報告を求める。
教育総務課長	<p>教育総務課所管の教育総務・学校管理・学校施設に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/19 市議会決算特別委員会が開催された。</p> <p>10/28 本日、第3回目となる総合教育会議が本庁4階会議室にて開催されるので関係者各位におかれてはよろしく願います。</p>
鈴木補佐（給食）	<p>学校給食に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/3 愛媛県学校給食会創立60周年記念特別講演会が愛媛県生涯学習センターにて開催された。</p> <p>10/7 今年度第3回目となる四国中央市学校給食センター建設準備委員会が開催された。</p> <p>10/23 第36回公立小・中学校栄養教諭・学校栄養職員研究大会がエスワールド愛媛文教会館にて開催された。今回は特にアレルギーに関する研究大会であった。</p>
学校教育課長	<p>学校教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/6 中学校新人戦最終の陸上競技が実施された。</p> <p>10/8 小学校陸上運動記録会が伊予三島運動公園にて開催された。</p> <p>10、11月でモデル校公開授業（電子黒板）を予定している。教育委員各位におかれては、ご参観いただければと思う。学校訪問の時より、さらに進化した状態をご覧いただけるのでよろしく願います。</p>
石井所長（少年）	<p>少年育成センターに関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/14、10/21～23 それぞれの地域において秋祭りが開催された。地域の補導員、PTA、小・中・高校の教職員等で補導活動を実施している。延べ300名ほどの方々に参加いただいた。</p> <p>市内で発生している不審者情報について、9月に5件、10月に3件、少年育成センターより配信している。今年度の合計配信件数は23件となるが、犯人検挙の連絡は1件のみである。引き続き警戒を呼び掛けていきたい。</p>
生涯学習課長	<p>生涯学習課所管の社会教育・社会体育・人権教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/2 人権教育協議会学校教育部会が開催された。本市合併後初めて賤称語の取り扱いについて協議された。教育委員会としての方針が固まり次第、運動団体との調整を図って行きたいと考えている。</p> <p>今月、就学前や公民館等、色々な場で人権・同和教育研究大会が開催されている。</p> <p>各地区の公民館文化祭において市議会とコラボレーションし、「四国中央市快適で美しいまちづくりの推進に関する条例」の啓発活動を行う予定である。</p>
国体推進課長	<p>国体推進課所管事務に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/2～ 2015 紀の国わかやま国体（第70回国民体育大会）の視察を行っている。市長をはじめ副市長、本市国体協力会・実行委員会の方々に視察いただいている。</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

<p>文化振興課長</p>	<p>10/28 本日、第70回国民体育大会入賞者（愛媛県）選手賞表彰式が国際ホテル松山にて行われる。わかやま国体の天皇杯（男女総合）順位で、愛媛県は13位に入った。2年後の天皇杯1位に向け徐々に準備は進んでいるものの、まだまだ厳しい状況にあるとの報告を受けている。</p> <p>その他、みきゃんや啓発グッズを活用し、引き続きあらゆる機会を捉え、えひめ国体の啓発活動に取り組んでいるところである。</p> <p>文化振興課所管の文化振興・図書館に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/3～4 四国中央ふれあい市民劇団による市民ミュージカル「月の上のガラスの町」公演（土居文化会館）が2日間で3回行われた。前庭にて同時開催されたマルシェも公演同様に好評であった。</p> <p>続いて図書館関係について資料のとおり報告する。</p> <p>各図書館において上映会やおはなし会等、ボランティアグループによる様々な行事を実施している。また、今月一杯、「ふるさと写真展」（3館共催）を実施しており、来館者よりご好評をいただいている。</p> <p>続いて暁雨館では、暁雨館大学として企画展「太陰」に関連した内容で、学芸員に講演いただいている。</p>
<p>委員長</p>	<p>只今の教育長及び各担当からの報告について、意見質問等がないか問う。</p>
<p>篠原委員</p>	<p>今朝の新聞に小学校低学年のいじめが増加したことが報じられていた。本市における実態はどうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>文科省よりのいじめ認知件数等に関する再調査の結果、いじめ件数の増加は確認されたものの、本市における低学年のいじめについては、大幅に増えていない。以前にも報告したとおり、低学年の間でもゲーム端末等を介して簡単に人を傷つけてしまうことがあるようだ。そのような形のトラブルの報告は年々増えてはきている。ただ、10年前と比べた場合、低学年のいじめの数は増えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>本市において解決していない、いじめ問題はあるのか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>9月時点の集計では、いじめ事案の当該中学校1校が「解決していない」と上がっているが、常に見えないものがあるとの心構えはもっている。たとえ解決した問題であっても再燃する可能性を踏まえ報告を上げていただいている。また、小さな問題であっても全て上げてもらうようにし、それ以上問題が大きくなるような方向としている。</p>
<p>教育長</p>	<p>子どもたち自身が、問題を解決できる力を培えるよう教育していくことも大切だと思う。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>何をもって解決したと定めているのか。何かガイドライン的なものがあるのか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>それに関するガイドラインは作成されていない。いじめ問題の内容は、個々に違うし、その捉え方も子どもたちによって千差万別である。また、心の底からお互いに和解できたかどうかは、目に見えない場合もある。学校と</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

鈴木委員	<p>しては被害・加害両者が、納得したという時点で解決したと見ている。その線引きは非常に難しく、毎日、児童・生徒と接している先生方の識見による。</p> <p>最近のいじめ問題で大きな割合を占めているのは、LINE等のSNSツールによるものだと思う。いじめが低年齢化しているのも、それによって容易に行えてしまうことが要因と考えられる。SNSが浸透して何年か経つが、本市教育委員会あるいは学校全体としてネットコミュニケーションツールの用い方に関する具体的な取り決めがなされていないと思う。無論、強制することはできないものの、例えば使用時間に制限を設けることや夜は何時までといった具体案を提示した方が、漠然と注意喚起するより効果を期待できると思う。</p>
学校教育課長	<p>それに関しては、以前より懸案事項として上がっているものの、ネット端末を買い与えるのは保護者であり、また、学校外での使用となるため問題は複雑である。故に市P連との連携は重要であるものの、市P連の中でも考え方が色々あるようだ。現在、協議が進められている途中ではあるが、何らかの対策は必要であるとの共通理解はされている。ただ、現状は、保護者がネット端末を買い与える際に、ルール決めがされている家庭は半数程度である。まずは、それぞれの家庭においてルール決めをしていくことが大事ではないかとの意見も上がってきている。今後、こうした問題はPTA研究大会を含めさまざまな場で協議されることと思う。但し、そのような中で当委員会より、何らかの規則の押し付けとなってしまえば、真に改善を図ることはできないと考えている。</p>
委員長	<p>県警等でもPTAを対象に、子どもたちが携帯電話の安全な使い方の知識やマナー等の理解を深め、いじめなどのトラブルに巻き込まれないための情報モラルを身に付けるための講演会等が行われているようだ。</p>
学校教育課長	<p>お見込みのとおり、各学校においてそのような取り組みはなされている。ただ、当該参加者が少なく、必要なところに浸透していないのが現状である。</p>
委員長	<p>根本的に家庭教育の問題もある。「宇摩の子の誓い」等を普及・啓発し、家庭内部より変えて行かなければならない。総合教育会議でも話題に上ると思うが、この問題は市を上げて取り組むべきものである。</p> <p>他に意見等ないか問う。</p>
生涯学習課長	<p>人権教育を進める上で同和問題やいじめ問題、障害者差別等、色々な人権問題があり、それぞれ形態は違うものの、全ては排他主義の下に成り立っていること、また、それがエスカレートして行くと暴力や命に関わることを教えなければならない。それぞれを別問題として扱うのではなく、全てはつながっていることを一貫し推し進めなければマイナス効果を生みかねない。その辺りは、学校教育課とも協議して行きたい。</p>
委員長	<p>他に意見等ないか問う。</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

近藤委員	先日、陸上記録会が開催されたが、好記録は出たのか。また、愛媛県のジュニアアスリート発掘事業に本市から応募している子どもは何人位いるのか。
石津主幹(学教)	小学生女子の走り幅跳びで好記録が出、県大会に出場予定である。ジュニアアスリート発掘事業に関しては、まだファーストトライアルの段階であり、今後、小中合わせて16名がセカンドトライアルに進んでいる。
近藤委員	ジュニアアスリート対象者はまだ決まっていないのか。
石津主幹(学教)	お見込みのとおりである。
委員長	他に意見等ないか問う。 図書館イベントの「ふるさと写真展」は、昔の風景等を展示しているのか。
文化振興課長	昔のものや現在のものを含め色々と展示されている。10月末まで展示されているのでご覧いただければと思う。
委員長	他に意見等ないか問い、議事に移る。
委員長	<b>議事</b> 議案第30号「四国中央市立学校の児童及び生徒に係る出席停止の命令の手續に関する規則について」を上程し、議案の説明を求める。
石津主幹(学教)	議案第30号について、資料に基づき議案を説明する。 これは、学校教育法第35条の第2項から第4項に規定する出席停止に係る手続き等に関し、必要な事項を別紙のとおり定めたものである。国がいじめの防止等のための基本的な方針を出しており、それに基づき、出席停止の手續に関し必要な事項を教育委員会規則で定めるものである。
委員長	只今の議案第30号の説明に、意見質問等ないか問う。 最近、出席停止になった事例はあるのか。
教育長	最近はないが、4～5年前にあった。
鈴木委員	子どもたちは教育を受ける権利がある。保護者が納得の上で同意していただく必要があるのでは。
石津主幹(学教)	無論、義務教育であるので出席停止する児童・生徒に対しても資料にあるとおり、個別の指導記録及び個別指導計画案を保護者に確認いただき了解を得ることとしている。
教育長	実際、出席停止処置を取ろうとしても、その家庭環境に問題がある場合が多く、本当の意味での改善は図れず運用は難しい。むしろ、別室登校とし個別指導の方が望ましいということになる。場合によっては、家庭環境や様々な状況等を考え、矯正施設での更生がその子にとって望ましいこともあ

# 四国中央市教育委員会会議録

	<p>る。そうした事情を理解せず表面的な部分だけを捉え、ただ騒ぎ立てるマスコミは如何なものかと思う。</p>
篠原委員	<p>高校では何か問題を起こし、例えば1週間別室登校する場合、親も子どもも1日1ページ反省文を書くようだ。その際、親は自分が行ってきた育児方法等を改めて色々と見つめ直す機会となるようだ。家庭での親の考え方というのが、非常に大事であると感じた。</p>
近藤委員	<p>出席停止処置があるということは、子どもたちの問題行動への抑止力となるのではないか。</p>
教育長	<p>抑止力とはなるが、子どもの将来を閉ざしてはいけない。子どものこれからの長いスパンを考えれば必ず変わる機会があるはずだ。その可能性を残さなければならない。</p>
近藤委員	<p>無論、挽回の機会を与えることは必要である。</p>
学校教育課長	<p>いずれにしてもこれまでは、出席停止を適応できる状態にあったが、様式が明確に決められていなかった。今回、それを定めるものである。必要な事項については、教育委員会が別途定めるということで、また、ご相談させていただければと思う。</p>
委員長	<p>意見質問等ない旨確認し、議案第30号について異議ないか問う。</p>
全委員	<p>異議ない旨伝える。</p>
委員長	<p>異議ない旨確認し、議案第30号「四国中央市立学校の児童及び生徒に係る出席停止の命令の手續に関する規則について」を原案どおり可決する旨宣する。</p> <p>続いての議案第31号「四国中央市いじめ防止対策委員の委嘱について」は人事案件のため非公開審議が適当であると考えるが、異議ないか問う。</p>
全委員	<p>異議ない旨伝える。</p>
委員長	<p>異議なしと認め第31号は、非公開で後ほど審議することを宣する。それでは、一旦、議事を終了しその他の案件に移る。</p>
委員長	<p><b>その他</b> 「学力向上支援事業に係る情報システム計画書について」の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>「学力向上支援事業に係る情報システム計画書について」を資料に基づき概要を説明する。</p>
委員長	<p>只今の説明に、意見質問等ないか問う。 県下でもシステム化がかなり進んでいるところもある。時代の流れもあるが、そうしたところに力を注いでいただくためには、モデル校の授業を市長</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

	<p>や市議会議員に参観してもらい理解いただく必要がある。</p>
石津主幹(学教)	<p>既に幾人かの市議会議員には参観いただいております、市長にもご案内を出しているところである。</p>
教育長	<p>ある学校からは、システム化により大きな効果が得られたとの情報も寄せられている。</p>
委員長	<p>システムを十分活用するため、先生方の育成も必要である。</p>
教育長	<p>確かに教育機器はこれかも益々進化して行くと思われ、それに対応して行かなければならない。</p>
委員長	<p>効果は目に見えて明らかなので、できるだけ早く導入して行ければよいと思う。</p>
生涯学習課長	<p>電子黒板の授業をご覧になった市議会議員の方々からは、早期整備の要望も出ているようだ。ICT整備計画(案)を見るとモデル校とそれ以外の学校で導入時期に格差を感じる。モデル校以外もできるだけ早期導入とする計画(案)とした方が、市議会の要望に応えられるのではないかと思う。</p>
教育長	<p>確かにその意気込みを示す必要はある。</p>
教育総務課長	<p>モデル校を参観させていただいたが、動きのぎこちなさを感じる場面もあった。また、システム導入にあつたては、先生方の負担も考慮しつつ、その取扱いについて技術格差が生じないようにもしなければならない。</p>
石津主幹(学教)	<p>動きに関しては、操作端末のスペックの問題であり、それに相応しい端末を充てがえば問題はない。 電子黒板は、分かり易い授業を進める上で非常に効果的である。</p>
学校教育課長	<p>電子黒板導入イコール学力向上という訳ではない。授業の何処でどのように使えば効果的なのかは、使用する全ての先生方が研修しなければならないことであり、その点についてはお願いしている。その先生が異動したら使えないということがないよう環境を早く整えたいと考えている。</p>
委員長	<p>できるだけ早い整備をお願いしたい。 その他、意見質問等ない旨確認する。 この他に公開案件として何かないか問う。特にない旨確認し、改めて議事を非公開で再開する。 非公開審議により傍聴人に退出を求める。</p> <p>～傍聴人は退出(以降の再入場なし)～</p>
委員長	<p><b>議事</b> 議案第31号「四国中央市いじめ防止対策委員の委嘱について」を上程し、議案の説明を求める。</p>



# 四国中央市教育委員会会議録

学校教育課長	議案第31号について、資料に基づき議案を説明する。 四国中央市いじめ防止対策委員会及び四国中央市いじめ問題再調査委員会 条例第5条の規定に基づき、資料の者を四国中央市いじめ防止対策委員に委 嘱されたい。委員の任期は、委嘱の日から2年とする。
委員長	只今の議案第31号の説明に、意見質問等ないか問う。 意見質問等ない旨確認し、議案第31号について異議ないか問う。
全委員	異議ない旨伝える。
委員長	異議ない旨確認し、議案第31号「四国中央市いじめ防止対策委員の委嘱に ついて」を原案どおり可決する旨宣する。 以上で提出された議案の審議等は全て終了したが、その他報告事項等ない か問う。
教育総務課長	次回定例会の招集を願う発言。
委員長	次回、教育委員会第11回定例会を平成27年11月26日（木）午後1時30分か ら、本庁5階第1委員会室に召集する。 その他に報告等ないか問い、報告・意見等ない旨確認する。
委員長	<b>閉会</b> 午前10時40分、閉会を宣する。
	以上、会議の顛末を記録し、その真正であることを認め、署名する。
	教育委員会会議録署名人
	四国中央市教育委員会 委員
	四国中央市教育委員会 委員
	会議録作成者 教育総務課 星川 直子